

お年寄り支えて1年

桐生市ボラ協の「みんなの茶の間」毎日通う常連さんも

節目の交流会



桐生市梅田町二丁目 して1周年を迎えた。の交流サロン「みんなの茶の間」がスタート

めぐせる場所をつくらうと、NPO法人桐生市ボランティア協議会(宮地由高会長)が取り組んでいるもの。7日には地域の常連らが集い、節目を祝って食事や交流を楽しんだ。

「みんなの茶の間」は高齢者の居場所づくりを図り、同協議会が設置した常設の交流拠点。年齢を重ねて一人暮らしになったり、住み慣れた地域で自分らしい生活を送る高齢者を支える仕組みの一つだ。

くつろいだり、オープン周年を祝い食事や交流を楽しむ「みんなの茶の間」(桐生市梅田町二丁目)で

しゃべりしたり、レクリエーションを楽しんだり、使い方はさまざま。初心者麻雀(マジャン)、教室や歌声喫茶、写経・写仏など幅広いイベントも行う。

「おまかせランチ」は人気が高く、毎日通う常連客も。同協議会の副会長で運営担当の平野恵美子さんは、「いかにみんなにおいしく

食べてもらえぬかを考え続けた1年間だった」と振り返った。「真心こもったご飯がおいしいのよ」というのは常連の向田サキさん(85)。「天神町三丁目」。同じく常連の高島照子さん(83)も、「歩いてちょ

うどいい距離にみんなと会える場所があるのが助かる」と笑顔だ。1周年の食事を楽しむお年寄りたちを前に、ボランティア代表の羽鳥芳子さんは「毎日来てくれる人がいて感謝感激。これからも健康第一にした食事を

提供したい」と目を輝かせた。同日は節目を祝い、「二条よりの絆会」が踊りや歌で花を添えた。場所は梅田町二丁目の長沢石油そば。利用時間は午前10時～午後3時で、土・日曜、祝日休み。ボラ協のスタ

ツフや近所の女性たちが交替で常駐する。「おまかせランチ」は400円で正午～午後1時。ボランティア協会の問い合わせは桐生市(電090・1553・6677)へ。